

説明資料（府中市の評価案について）

大項目 2：住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項						
	中期目標	中期計画	年度計画（平成30年度）	事業実績及び課題（事業報告書から）	評価	
1 提供する医療の内容	(1) 高齢化に対応した医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者の在宅生活の支援及び在宅生活復帰支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問看護ステーションの充実</li> <li>・地域包括ケア病床の導入</li> </ul> </li> <li>● 多職種連携による終末期の在宅医療推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高齢者の在宅生活支援に向けた地域包括ケア病床の効果的運用、院外の介護施設との連携促進</li> <li>○ 訪問診療、訪問看護に従事する職員体制の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケア病床を最適な病床数とし、効果的、効率的な病床運用を行った。</li> <li>・心臓リハビリについては患者数が増加した。（府中市民）</li> <li>・通所リハビリを拡大したことにより延患者数が増加した。（府中北市民）</li> <li>・訪問看護、訪問介護サービスは、将来的な人材確保のため他の事業所との連携による事業継続を検討する必要がある。</li> </ul>	◎ (◎)	年度計画にある高齢者の在宅生活支援に向けたソフト面の取り組みについては一定の成果が出ている。
	(2) 予防医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人間ドックや健康診査受診の積極的呼び掛け</li> <li>● 総合的な予防医療の提供</li> <li>● 介護予防に向けたリハビリ機能の充実</li> <li>● 市と両病院がそれぞれ所有する情報の予防医療への効果的な活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人間ドック、健康診査の実施</li> <li>○ 各種検診機能の維持、拡大</li> <li>○ セミナー室、レストランを活用した生活習慣病予防啓発</li> <li>○ 入院・外来患者へのリハビリ、訪問リハビリの充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健診受診者については、昨年度と比べ府中市民病院は減少し、府中北市民病院については増加した。</li> <li>・健診に係る医師の業務分担が限定されているため、更なる健診受入者数の拡大は困難な状況となっている。</li> <li>・両病院のリハビリの業務量増加に対応した職員増員を図る必要がある。</li> </ul>	◎ (○)	
	(3) 救急医療への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 急性期患者への速やかな対応</li> <li>● 日常的に情報交換を行うための仕組みづくり</li> <li>● 広域での救急医療体制の維持</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域の医療機関と連携、補完による急性期患者への対応</li> <li>○ (二次救急) 病院群輪番制病院（府中市民）救急告示病院（府中北市民）</li> <li>○ 休日当番医制に参加</li> <li>○ 福山地区と広域で救急医療体制維持</li> <li>○ 救急医療を担う常勤医師・非常勤医師の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(二次救急) 病院群輪番制病院（府中市民）救急告示病院（府中北市民）</li> <li>・(休日当番医制) 診療所と協力し当番医減少を補完（府中市民）年間を通じて上下地域の当番医を担当（府中北市民）</li> <li>・外科常勤医師退職により4月から外科手術が実施不能になった。（府中市民）</li> </ul>	◎ (○)	府中市民病院については、外科常勤医師の退職による厳しい状況にあっても、病院群輪番制、休日当番医制を維持し、府中北市民病院についても北部圏域の救急告示病院、休日当番医として機能していることは評価できる。
	(4) へき地医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 久佐・協和両地区での巡回診療の実施（府中市民…へき地医療拠点病院）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 久佐・協和両地区での巡回診療の実施（府中市民）</li> <li>○ へき地医療を担う医師や医療従事者の研修及び研究施設を目指す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・久佐・協和両地区での巡回診療を実施し、合計受診者数は増加した。（府中市民）</li> <li>・大学病院の研修連携施設として研修医を受け入れ、へき地医療に関する研修を実施した。（府中北市民）</li> </ul>	◎ (○)	
	(5) 災害医療への協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 行政からの要請に基づき必要な医療の提供（災害発生時、感染症流行時）</li> <li>● 所轄消防署等と連携した災害対策訓練の実施</li> <li>● 市の総合防災訓練への積極的参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 災害発生時、感染症流行時の市からの要請に基づく必要な医療の提供</li> <li>○ 所轄消防署等と連携した災害対策訓練の実施及び市の総合防災訓練への積極的な参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害マニュアルを作成したが、災害訓練は未実施であった。</li> <li>・広島県看護協会の災害支援ナースの登録者は、昨年度より1名増加した。</li> </ul>	◎ (○)	昨年に引き続き災害対策訓練は未実施である。近年全国的に自然災害が頻発している現状があり、今後のBCP作成に併せ、両病院の備蓄等も含め、災害などの緊急時における対応策をきちんと講じておく必要がある。

評価：  
 ◎…年度計画を上回って実施、  
 △…年度計画を十分に実施できていない、  
 ○…年度計画を順調に実施  
 ×…年度計画を大幅に下回っている

大項目 2 : 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

	中期目標	中期計画	年度計画（平成30年度）	事業実績及び課題（事業報告書から）	評価
2 病院が担う役割の確立と診療機能の確保	(1) 両病院の将来像の確立				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 両病院の将来像の確立</li> <li>■ その実現に向けた計画的取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 病院運営を取り巻く情勢や地域の医療ニーズを的確に反映した両病院の将来像の確立</li> <li>● 地域住民や関係機関と共通の認識を持った、計画的な取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 病院運営を取り巻く情勢や地域の医療ニーズを的確に反映した両病院の将来像の確立</li> <li>○ 地域包括ケアシステムに資する機能の整備</li> <li>○ 医療機関全体の役割分担による医療提供に向けた府中地区医師会の医療機関との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 両病院の将来像を確立するまでには至っていない。</li> <li>・ 市が描く将来像とも関係するため、市と調整を図りつつ府中地区医師会の医療機関と連携しながら進める必要がある。</li> </ul>	<p>△ (×)</p> <p>将来像の確立までには至っていないが、地域包括ケアシステムに資する機能の整備として、府中北市民病院のサービス付き高齢者向け住宅の整備などが進められている。</p>
	(2) 必要な診療機能の確保				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 必要な診療機能の確保</li> <li>■ 地域の病院、診療所などとの役割分担による効果的な診療科目の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域包括ケアシステムの構築に向け、必要な診療機能の確保</li> <li>● 近隣病院、診療所との連携・役割分担による効果的な診療科目の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 婦人科検診の存続</li> <li>○ 外科診療の存続（乳がん検診）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外科・耳鼻咽喉科の常勤医師の退職などがあり、常勤医師数が減少（府中市民）</li> <li>・ 近隣で開業していた外科医師が非常勤で勤務することになり、外科外来を維持（府中北市民）</li> </ul>	<p>○ (○)</p> <p>婦人科・小児科などの地域に必要な診療機能が維持されていることについては評価する。</p>
(3) ICT技術を活用した地域医療連携					
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 医療機関・介護サービス事業所等との連携の促進</li> <li>■ ICT技術の更なる活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 医療連携にむけたICTの活用推進</li> <li>● 「ひろしま医療情報ネットワーク（HMネット）」参加（広域）</li> <li>● 在宅医療情報共有システムによる地域連携（府中地区医師会圏域）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ HM ネット開示情報の充実による医療連携の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ HM ネットのカード発行枚数は増加したが、参照件数は減少（府中市民）</li> <li>・ 府中地区医師会圏域でのHM ネットの参加施設を拡大し、医療連携におけるICTの活用を推進するため、病院入口に広報用ディスプレイを表示（府中市民）</li> <li>・ 電子カルテ導入に着手。電子カルテ導入後は早期にHM ネットに参加し、北部地域での医療連携を図る（府中北市民）</li> </ul>	<p>△ (○)</p> <p>HM ネットによる参照件数が増えておらず、医療連携推進が促進されているとまでは言えない。</p>	
(4) 広域的連携体制構築が進められている医療への対応					
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市と連携した小児救急・周産期等の再開（広域的連携体制の構築が推進中）</li> <li>■ 広域的連携体制内で両病院が担うべき具体的役割の実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小児救急・周産期は病院単独での再開は困難</li> <li>● 広域的連携体制内での両病院の具体的役割を明確にし、その役割を果たす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 病院単独での再開が困難な診療機能については広域的連携体制内での両病院の具体的役割を明確にし、その役割を果たす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小児科外来と、婦人科を標榜する医療機関として外来診療と婦人科検診の維持に努めた（両病院）</li> <li>・ 小児救急医療や周産期医療は病院単独での再開は困難であるため、両診療科の維持には医師の招聘に取り組む必要がある（特に婦人科常勤医）</li> </ul>	<p>○ (○)</p> <p>医師の確保が困難な中、小児科・婦人科の診療機能が確保されている。</p>	

評価：

◎・・・年度計画を上回って実施、

△・・・年度計画を十分に実施できていない、

○・・・年度計画を順調に実施

×・・・年度計画を大幅に下回っている

大項目 2 : 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

	中期目標	中期計画	年度計画（平成30年度）	事業実績及び課題（事業報告書から）	評 価	
3 地域包括ケアシステムの構築	(1) 地域包括支援センターとの連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域包括支援センター（サブセンター）機能との連携推進（サブセンター）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・南部生活圏域…府中市民病院内</li> <li>・北部生活圏域…上下保健センター内</li> </ul> </li> <li>● 府中北市民病院が推進役となり早急な上下地域の地域包括ケアシステムの構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域包括支援センター（サブセンター）機能との連携推進</li> <li>○ 病院の地域医療連携室との連携の強化による在宅支援機能の発揮（府中市民）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域医療連携室の体制を強化し病院内に設置された市の地域包括支援センター・サブセンターとの連携を図っている。（府中市民）</li> <li>・ 地域医療連携室とサブセンターによる他職種研修会、地域への出前講座を実施した。（府中北市民）</li> </ul>	○ (○)	
	(2) 「在宅支援システム」構想の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地区医師会、訪問看護ステーションや介護サービス事業所との連携体制の実現</li> <li>● 緊急時の受け皿機能の発揮による在宅介護者の不安解消</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地区医師会、訪問看護ステーションや介護サービス事業所との連携体制の実現に向けた具体的取組の推進</li> <li>○ 緊急時の受け皿機能の発揮による在宅介護者の不安解消</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 府中地区医師会の地域包括ケア事業多職種連携協議会に社会福祉士が参加（府中市民）</li> <li>・ 住まい・医療・介護・生活支援の一体的提供に向けて、サービス付き高齢者向け住宅への施設改修工事に着手した。（府中北市民）</li> </ul>	○ (○)	府中北市民病院に設置するサービス付き高齢者向け住宅が緊急時の受け皿機能の発揮による在宅介護者の不安解消の一要因となるよう期待する。
	(3) 医療・介護の総合的サービス提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 在宅生活を支える医療と介護の総合的サービスの提供</li> <li>● 24時間定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業の開始（府中北市民）</li> <li>● 病院4階施設を通所、宿泊が可能な介護サービス事業へ有効活用（府中北市民）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 在宅生活を支える医療と介護の総合的サービスの提供</li> <li>○ 24時間定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業の継続（府中北市民）</li> <li>○ 病院4階施設をサービス付き高齢者向け住宅に改修（府中北市民）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 府中市民病院の訪問看護ステーションの訪問看護実績は増加したが、府中北市民病院分については職員減少もあり、実績は減少した。</li> <li>・ 府中市北部で唯一の24時間定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス事業を継続（府中北市民）</li> </ul>	○ (○)	

評価：

◎…年度計画を上回って実施、

△…年度計画を十分に実施できていない、

○…年度計画を順調に実施

×…年度計画を大幅に下回っている

大項目2：住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

	中期目標	中期計画	年度計画（平成30年度）	事業実績及び課題（事業報告書から）	評価
4 医師及び医療従事者の積極的かつ計画的な確保	(1) 医療機関をはじめとした関係機関への協力要請	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 病院の魅力向上</li> <li>● 市と連携して大学病院、広島県、広島県地域医療支援センター等への医師派遣要請</li> <li>● 病院と地域住民の協働で医師を招聘するための地域づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 病院の魅力向上</li> <li>○ 市と連携・情報共有を密にし、大学病院、広島県、広島県地域医療支援センター等の関係機関に協力要請を行う</li> <li>○ 病院と地域住民が協働して医師を招聘するための地域づくりに取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学病院、広島県、広島県地域医療支援センター等への医師派遣要請を実施（理事長、事務長）</li> <li>・ 医師育成奨学金（府中市）…奨学生5人（平成30年度末時点）</li> </ul>	<p>△ (○)</p> <p>医師等の確保につながる具体的な病院の魅力向上の取組が必要である。</p>
	(2) 臨床研修体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 初期臨床研修における地域医療研修の受け入れに努力</li> <li>● 総合診療医を目指す医師の研修病院をめざす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域医療病院コンソーシアム府中として連携している社会医療法人社団陽正会との地域の病院群としての臨床研修体制の構築</li> <li>○ 岡山大学病院、福山市民病院、中国中央病院の内科専門医研修プログラムに特別連携施設として登録（府中市民）</li> <li>○ 両病院の連携により総合診療医を目指す医師の研修病院となるよう努める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 府中市民病院は研修受け入れ実績なし。（岡山大学病院、福山市民病院、中国中央病院の内科専門医研修プログラム）</li> <li>・ 府中北市民病院は、地域医療研修の研修医2人を受け入れた。（広島大学病院の協力型臨床研修病院）</li> </ul>	<p>△ (△)</p>
	(3) 看護師養成機関等との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 奨学金制度や採用情報など、看護師養成機関等への積極的な周知</li> <li>● 計画的な看護師、医療技術者の採用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 奨学金制度や採用情報など、看護師養成機関等への積極的な周知</li> <li>○ 計画的な看護師、医療技術者の採用</li> <li>○ 地元の高校生・中学生へ病院事業や奨学金制度の説明会開催（府中北市民）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 奨学金貸与学生1人が病院機構に就職</li> <li>・ 看護師奨学金…奨学生2人（平成30年度末時点）</li> <li>・ 近隣の看護学校に奨学金制度や両病院の採用情報などを周知</li> <li>・ 府中地区医師会准看護学院への講師派遣、実習生受け入れ（府中市民）</li> <li>・ 訪問看護ステーションで実習生受け入れ（府中市民）</li> </ul>	<p>○ (○)</p>
	(4) 子育て世代等に配慮した職場環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 魅力ある制度の構築と院内環境の整備</li> <li>・ 短時間正規雇用制度の導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 短時間正規雇用制度の導入</li> <li>○ 院内保育所「おひさま」の認可保育所化、定員増加</li> <li>○ 病児保育事業の受託実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 労働契約法改正による臨時職員（5年以上勤務者）の無期契約の義務付けに対応し、限定（業務限定・地域限定）正職員制度を導入した。</li> <li>・ 正職員と臨時職員の給与格差の軽減に配慮することで人材確保に努めた</li> <li>・ 院内保育所「おひさま」を認可保育所として病院機構が直接運営し、定員を2人増加</li> </ul>	<p>○ (△)</p> <p>全ての職種における短時間正規雇用制度の導入には至っていないものの、法改正への対応を行っている。 院内保育所「おひさま」については計画どおりである。</p>

評価：

◎…年度計画を上回って実施、

△…年度計画を十分に実施できていない、

○…年度計画を順調に実施

×…年度計画を大幅に下回っている

大項目 2 : 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

	中期目標	中期計画	年度計画（平成30年度）	事業実績及び課題（事業報告書から）	評価	
5 地域住民とともに守る病院づくり	(1) 患者の利便性と院内環境の快適性の向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 患者の待ち時間の短縮等、利便性の向上</li> <li>■ 適切な施設の管理や保全</li> <li>■ 患者のプライバシー保護に配慮した施設改良</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 患者の待ち時間の短縮等、利便性の向上                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子カルテの導入（府中市民）</li> <li>・両病院間の患者情報共有ネットワークの構築</li> </ul> </li> <li>● 適切な施設の管理や保全</li> <li>● 患者のプライバシー保護に配慮した施設改良</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 府中北市民病院への電子カルテの導入による患者の待ち時間短縮等の利便性の向上</li> <li>○ 患者や来院者により快適な院内環境を提供するための適切な施設管理や保全等を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子カルテと各部門の連携による業務の効率化を図っている。</li> <li>・外来の採血、検査業務に関わる職員の早出勤による患者待ち時間の短縮を図った。</li> <li>・患者が安らぐ空間づくりとして地域住民の作品展示、「ロビーコンサート」を開催した。</li> </ul>	○ (○)	電子カルテ導入による効果や、新たな取組により患者の待ち時間の短縮が図られている。
	(2) 患者情報の保護 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 患者情報の適切な管理・保護</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 患者情報の適切な管理・保護を、引き続き厳格に実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 患者情報の適切な管理・保護の厳格な実施</li> <li>○ 個人情報保護に関する職員研修会の開催（年1回）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子化された患者情報への機能制限をかけ、閲覧記録も適正に取り扱っている。（府中市民）</li> <li>・個人情報保護に関する職員研修会は両病院で未実施</li> </ul>	△ (○)	個人情報保護に関する職員研修会は両病院で未実施である。 職員の採用は毎年度あるため、個人情報保護に関する職員研修会を確実に実施されたい。
	(3) 職員の接遇向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 職員の接遇に対する患者満足度の定期的把握とその向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 職員の接遇に対する患者満足度の把握</li> <li>● 満足度調査結果を職員研修に活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 職員の接遇に対する患者満足度の把握</li> <li>○ 満足度調査結果を職員研修に活用</li> <li>○ 職員研修の開催（年2回）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両病院で投書箱を設置し、病院としての回答を1階ロビーに掲示した。</li> <li>・接遇委員会を開催し、職員研修等の内容を協議した。</li> <li>・院内ラウンドを実施し、施設面での改善に努めた。</li> <li>・外部講師による職員研修を開催した。（府中市民2回、府中北市民1回）</li> </ul>	○ (○)	投書箱を設置する受け身の姿勢だけでなく、病院が積極性を持って患者満足度を調査し、結果を職員の接遇研修にフィードバックするなど、“市民から選ばれる”病院づくりに努められたい。
	(4) 医療安全対策の徹底 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 院内感染防止策の確実な実施</li> <li>■ 医療安全対策の徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 院内感染防止策の確実な実施</li> <li>● 医療安全対策の徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 院内感染防止策の確実な実施</li> <li>○ 医療安全対策の徹底</li> <li>○ 医療安全対策委員会で職員の共通認識を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・院内感染対策委員会については毎月開催し、感染症情報を共有した。</li> <li>・院内感染対策の職員研修会を定期開催した。</li> <li>・医療安全対策委員会を毎月開催し、インシデント・アクシデント報告と対応策、再発防止策を確認した。</li> <li>・医療安全対策の職員研修会を開催した。</li> </ul>	○ (○)	
	(5) 住民への積極的な情報発信と住民啓発 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 病院情報の積極的な発信</li> <li>■ 病院施設を活用した地域交流の促進</li> <li>■ 地域住民の理解促進と親近感の醸成</li> <li>■ 保健・医療・介護に関する普及啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 広報紙や電子媒体による病院情報の積極的な発信</li> <li>● 病院施設を活用した地域交流の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広報紙（年2回）や電子媒体による病院情報の積極的な発信</li> <li>○ 市と連携し、病院施設を活用した地域交流の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人広報紙は未発行。</li> <li>・トピックス記事（病院HP）、Facebookによる情報発信を行った。</li> <li>・独自の広報紙を発行した。（府中北市民）</li> <li>・両病院で病院まつり、院内コンサートを開催するとともに、町内会の祭りなどに出席し、地域交流に努めた。</li> </ul>	○ (○)	
	(6) 病院ボランティアの育成・受入れ <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 病院ボランティアの育成、積極的活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 病院ボランティアの育成、積極的活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 病院ボランティアの育成と積極的受入</li> <li>○ ボランティア業務内容の再検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合受付での受付案内や、外来から検査への誘導などをボランティアが担当した。（府中市民）</li> <li>・病院ボランティアの登録者は3人。</li> </ul>	○ (○)	

評価：

◎・・・年度計画を上回って実施、

△・・・年度計画を十分に実施できていない、

○・・・年度計画を順調に実施

×・・・年度計画を大幅に下回っている

大項目3：業務運営の改善及び効率化に関する事項

	中期目標	中期計画	年度計画（平成30年度）	事業実績及び課題（事業報告書から）	評価	
1 運営管理体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自律的な業務運営の実現に必要な経営戦略機能の充実</li> <li>■ 運営管理体制の確立</li> <li>■ 病院外部意見等の業務運営への活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 早急な組織改革</li> <li>● 病院外部からの意見等を業務運営に活かす仕組みづくり</li> <li>● 業務分析と多様な情報収集の成果の、業務運営への反映</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中心的役割を果たす法人事務局体制の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院外部からの意見等を積極的に業務運営に生かすため、法人理事に病院事業以外の民間事業経営者を招聘している。</li> <li>・ 法人事務局体制の更なる強化が必要である。</li> </ul>	<p>△</p> <p>(△)</p>	<p>昨年度の評価委員会で指摘があった経営戦略会議の成果が依然として目に見えて表れていない。引き続き法人事務局の体制強化に取り組まれない。</p>
	2 効果的で弾力的な人員配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 効果的かつ効率的な組織体制の実現</li> <li>■ 業務の改善と効率化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 限られた人材の弾力的配置</li> <li>● 主体的に運営を行う組織風土の醸成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 職員配置の見直し</li> <li>○ 地域包括ケアシステム構築を目標とした人員配置</li> <li>○ 法人事務局職員の法人採用職員への移行</li> </ul>	<p>両病院の効果的な職員配置を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 両病院間の職員異動</li> <li>・ リハビリ充実のための職員採用</li> <li>・ 医事課業務を委託から直営に移行するための職員採用</li> <li>・ 市の派遣から法人採用職員への移行に向けた職員採用（2人）</li> </ul>	<p>○</p> <p>(○)</p>
3 職員教育体制の充実	(1) 医師及び医療従事者の専門性及び医療技術の向上支援					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 安全で質の高い医療の提供</li> <li>■ 地域に必要な医療人材の定着</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 安全で質の高い医療の提供</li> <li>● 地域に必要な医療人材の定着</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 職員研修費の計画的、効果的な予算執行</li> <li>○ 必要に応じた柔軟な予算執行による地域に必要な医療人材の育成支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全職員の学会、研修会、発表会等への参加を支援した。</li> </ul>	<p>○</p> <p>(○)</p>	<p>研究研修費の対前年比（金額ベース）は府中市民10.4%増、府中北市民27.8%増であるものの、研修等の参加が鈍くなった職種もあるため、参加を促す環境づくりに取り組まれない。</p>
	(2) 事務職員の確保・育成と専門知識の習得支援					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 計画的な事務職員の確保</li> <li>■ 病院特有の医事、経理及び財務などに精通する職員の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 計画的な事務職員確保</li> <li>● 病院特有の医事、経理及び財務などに精通する職員育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ キャリアアップを積極的に支援することによる病院特有の医事、経理及び財務などに精通する職員の育成</li> <li>○ 多様な業務研修への参加支援</li> <li>○ 医師事務作業補助者の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務職員のキャリアアップを積極的に支援することにより、病院特有の医事、経理及び財務などに精通する職員の育成に努めた。</li> <li>・ 両病院で医師事務作業補助者の育成に努めた。</li> </ul>	<p>△</p> <p>(○)</p>	<p>年度計画にある多様な業務研修への参加支援や医師事務作業補助者育成の具体的な取組が見えない。</p>
4 働きやすい職場環境の整備	(1) 働き甲斐を感じることができる仕組みづくり					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 職員のやる気を最大限に引き出し維持できる仕組みづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 職員のやる気を最大限に引き出し維持できる仕組みづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 職員のやる気を最大限に引き出し、維持できる仕組みづくりを検討し、離職防止を図る。</li> <li>○ 日常的な部署間交流の機会を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハラスメントアンケート調査及び職員満足度調査を実施し、結果について院内報告会を開催した。（府中市民）</li> <li>・ ハラスメントの防止・根絶等に関する要綱・指針を制定した。</li> </ul>	<p>○</p> <p>(○)</p>	
	(2) 日常的に業務改善に取り組む職場意識の醸成					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 日常的に業務改善に取り組む職場意識の醸成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日常的に業務改善に取り組む職場意識の醸成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日常的に業務改善に取り組む職場意識の醸成</li> <li>○ 院内広報の定期的な発行により理事長の方針や法人の取組などの全職員の共通認識化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 院内広報紙「元気でるでる新聞」を発行した。（府中市民）</li> <li>・ 職員研修会の開催や広報紙特集号の発行などにより4人の障害者雇用を実現した。（府中市民）</li> <li>・ 広報紙「かわら版」を年8回発行した。（府中北市民）</li> </ul>	<p>○</p> <p>(○)</p>	
	(3) 福利厚生の実施					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 職員の福利厚生や労働衛生管理の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 職員の福利厚生の充実</li> <li>● 健康で働き続けるための労働衛生管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「ストレスチェック」による自己確認だけでなく、事業者としてメンタルヘルスの職場単位の集団分析や経年分析を行い、集団での労働安全管理に取り組む。</li> <li>○ 事業者と職員代表による労働衛生管理を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全職員対象「ストレスチェック」によるメンタルヘルスの自己確認を実施した。</li> <li>・ 事業者と職員代表による労働衛生管理を実施</li> </ul>	<p>△</p> <p>(○)</p>	<p>事業者としてのメンタルヘルスの職場単位の集団分析等が実施されておらず、年度計画の目標が達成されていない。</p>

評価：  
 ◎…年度計画を上回って実施、  
 △…年度計画を十分に実施できていない、  
 ○…年度計画を順調に実施  
 ×…年度計画を大幅に下回っている

大項目4：財務内容の改善に関する事項					
	中期目標	中期計画	年度計画（平成30年度）	事業実績及び課題（事業報告書から）	評価
1 経営基盤の強化による自律した病院運営	(1) 予算執行の弾力化				—
	■ 弾力的な予算執行	● 弾力的な予算執行	○ 弾力的な予算執行	・ 特徴的な予算執行なし	
2 市からの財政支援	(2) 収入の確保と支出の削減				○ (○)
	■ 収入確保及び支出削減 ■ 利用頻度の低い施設、設備の活用策検討	● 収入確保及び支出削減 ● 利用頻度の低い施設、設備の活用策検討	○ 収入確保及び支出削減 ○ 利用頻度の低い施設、設備の活用策検討	・ 理事会での目標管理を実施した。 ・ 外科常勤医師の退職は大きなマイナス要因	
	■ 市財政支援の有効活用 ■ 財政支援に依存する経営体質からの脱却	● 独立採算制の確立	○ 独立採算制の確立	・ 市からの繰入金は、当初予算に加え5,000万円の追加繰出があった。	△ (—)
大項目5：その他業務運営に関する重要事項					
1 市の健康福祉関連施策への積極的協力	■ 市の健康福祉関連施策への協力	● 市の健康福祉関連施策への協力	○ 市の健康福祉関連施策への協力	・ 市の健康福祉関連施策に対して積極的に協力した。	○ (○)
2 医療機器などの整備	■ 計画的な実施	● 計画的な実施	○ 医療需要等を考慮した上での計画的な医療機器の整備と更新の実施	・ 両病院の医療機器整備経費、府中北市民病院4階(サ高住)改修工事経費及び電子カルテシステム導入経費32,430万円 ・ 年度計画借入予定額23,800万円に対する借入実績額12,440万円 ・ 借入予定額のうち16,990万円を次年度繰越	△ (○)
大項目6：予算、収支計画及び資金計画（平成29年度）					
	—	● 中期計画中の予算、収支計画、資金計画の各表を参照	○ 年度計画中の予算、収支計画、資金計画の各表を参照	・ 財務諸表を参照	平成30年度は約1,500万円余りの当期純損失が計上されている。予期せぬ事情による収益減があったとはいえ、経営改善に取り組まれたい。

※ 大項目7以降の項目については、該当する取り組みがなかったため、評価を割愛する。

評価：

◎…年度計画を上回って実施、  
△…年度計画を十分に実施できていない、

○…年度計画を順調に実施  
×…年度計画を大幅に下回っている